

第9回 赤平産業 フェスティバル



←長蛇の列。大盛況のわくわくタイムセール！

10月13日(土)、総合体育館で第9回赤平産業フェスティバルが行われ、およそ5千人が来場しました。

会場にはものづくりのまち赤平を紹介する商品や、おいしい食べ物や並び、お買い得商品の販売コーナーやタイムセールには長蛇の列ができました。ステージでは札幌よしもと所属のお笑いコンビ「ソレイユ」のお二人が司会を務め、市民参加の催しを盛り上げました。特産品が当たる抽選会では、高額商品やポリウムたつぷりの農産品などを手にして笑顔があふれ、おなかいっぱい、お土産いっぱいの1日でした。



誰が一番、指定の重さに近いかな。
お米の計量ゲーム ←

→ おもちゃだけじゃない「別な何か」も飛んでくるオモチロもちまき



↑「当たり」の魚を釣り上げる！熱戦となった木の魚釣り大会



お楽しみ大抽選会みごと大当たり!! おめでと〜いっす ↓

気軽にできる健康チェック



匠塾のものづくり体験



図書館の除籍本を配布



赤平産業振興 人財育成事業

赤平の若手企業人が 産業フェスティバルで 大活躍!!



イベント終了後の記念写真。
お疲れさまでした。

赤平産業振興人財育成事業では、市内の企業で働く若者が集まり、将来の企業とまちづくりを担う「人財」となるため、情報交流と豊かな人間性を育む研修に取り組んでいます。今回、11名のメンバーが「産業フェスティバル」で子どもたち向けのイベントを企画。会場内に隠されたカードを探して、市内企業にまつわるクイズに答えてもらうゲームを行いました。メンバーは優しく丁寧に子どもたちに接し、クイズのヒントを出しながら、未来の企業を担う子どもたちに企業PRをしました。



リーダーの伊達さん

リーダーを務めた
社会福祉法人北海道光生舎

伊達 大智さん

今回参加してくれる子どもたちには、将来、赤平の企業に就職して私たちと一緒に働いてほしいなと思います。準備を進めてきました。クイズが書いてあるカードには、企業のロゴや情報を書いてあって、家に持ち帰ってからも見てもらえるように考えました。メンバーはそれぞれ違った企業で働いていますが、協力してイベントができて、よい経験になりました。

炭鉱遺産ガイダンス施設 イベント情報

— 11月4日(日)開催 —

赤平4炭鉱企画

「炭鉱(やま)の思い出」

トークショー

炭鉱に縁のある方々から赤平市内の主要な4炭鉱(茂尻、豊里、赤間、住友)にまつわるお話を聞く会です。懐かしい写真なども公開予定です。

出演者

- 吉成茂明氏(茂尻炭鉱)
- 岡田知治氏(豊里炭鉱)
- 目黒貞夫氏(赤間炭鉱)
- 吉田勲氏(住友赤平炭鉱)

主催 赤平市教育委員会
※入場無料、申し込み不要

リレートーク

「ドイツ・九州・炭鉄港」

旧産炭地域の首長らが語る
炭鉱遺産の未来

登壇者

- 高橋幹夫氏(美唄市長)
- 佐々木誠也氏(空知総合振興局長)
- 吉岡宏高氏(NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長)
- 菊島好孝(赤平市長)

時間 10時30分～12時
主催 NPO法人炭鉱の記憶推進事業団

※入場無料、申し込み不要

市民無料!!

炭鉱遺産ガイド付き見学の時間 10時～(4日午後)

ガイドはありません。
○ 赤平市在住の証明となるもの(免許証・保険証など)を
ご持参ください。
○ 市外の方は有料です。

同時開催

「食のTANtanまつり」

74-6505

ガイダンス施設

開催場所・問合せ

いずれの催しも